

釋明
康井朝貴

妙法蓮華經
第十六

妙法蓮華經 第十六

(妙法蓮華經 如來壽量品第十六——微妙法)

江南大学图书馆



91500821



南無 釈迦牟尼佛画像

南無 釈迦牟尼佛様にま見え

1991年8月初旬 康井朝貴 画く

はじめに

私達、「凡夫人」(俗言)——ただの人間——は、自分達の自で確認できる物や、

俗言「科学的」に立証できる物や、事を第一とし、

ややもすれば、現在の技術水準で立証できない物や、事、及び常に目や耳、鼻で確認できない物や、事を否定的に思い、考えてしまいます。が、

私達、凡夫人は、凡夫人以外の衆多の諸もろの衆生と共に、此の六趣の三界の、世の間に在っているのです。

又、私達は、必ず、現世の各、各の「其の身」を、死に至る宿めの中に住し、而も「其の身」が死して各、各の生命の終わりを迎えるのではなく

現世にて作した「報いの処」に転生し、続けるのです。

是の真実を、我々衆生が知ろうと、知るまいと、悟ろうと、悟るまいと、時が過ぎ往く如くに、厳然と「是の真実の宿めの中」で存在しているのです。

我々衆生は、自らの能力では「是の宿め」から抜け出る能力無く

生きる事、老いる事、病いの事、死する事、各、各に憂い、悲しみ、苦しみ、

絶え間無く苦悩に会いながらも、慢心を懷き、

「五欲（俗言では、支配欲、名譽欲、財欲、戲樂欲、贅沢欲、等）」

を求めては垢れ、惡、不善を作し「惡業」を重ね往き、死しては報いの「險難の処」に生じ
或いは、「大罪」を作しては「地獄」に墮ち

百万年或いは、百億年、十兆年と、

「地獄、餓鬼、畜生道」の「三惡道」の中で微塵数と転生し「大罪」の報いの大苦の咎を受け、
喘えぎ住するに至るので在り、止留まり在すれば、必ず「三惡道」に墮ちるに至る
此の六趣の三界の中で輪廻転生し、今、世の間に在しているのです。

『慧日大聖主』南無『釈迦如来』様は、

先の様に、自ら楽しんで垢れ、惡を求め作し、

自から楽しんで「惡業」を重ね、自から楽しんで「地獄」等の「三惡道」に墮ち往く

我等、凡夫人（俗言人間）及び、諸もろの衆生をも「大悲にて慰れみ」下さり

世の間に住す全ての衆生に、此の六趣の三界から抜け出る「大福德」を得させ下さる為に
是の『妙法蓮華經 如来寿量品第十六』を定め下さりました。

愚私、康井朝貴は一九九二年八月に、

『慧日大聖主』南無『釈迦牟尼仏』様に、

『妙法蓮華經 如來壽量品第十六の義』を明らかにし、普ねしに知らせよ、

の『御、指示』を受け

集中して是の『微妙法（妙法蓮華經 如來壽量品第十六及び、分別功德品第十七）』の『義』を
 釈明するに努め、此に釈りやすく説き明らかにできた事を、至上の慶こびに想っています。

（少し残念な事は『分別功德品第十七』も同期に釈明を作し已りたかつたです）

少しでも多くの、できれば世の間に住す全ての衆生の方々が

「明らかにした是の『微妙法（如來壽量品）』の『義』に随い行じれば、

全ての邪、悪から救い下さり、全てに清く淨く美しく、

安樂に住せる『七宝国土（清淨な三界）』に生じる『大福德』を得させ下さります」

『慧日大聖主』南無『釈迦如來』様の『大いなる救い（眞の救い）』を得れる事を願ひ、

『本』に設えるのを怠っています。

其れを進めるに當って、愚私は、俗言「何々教」や、「何々宗」など等の

教団や団体を作す意図は千兆分の一も無く、唯、唯、唯、全ての諸もろの衆生の方々が、

『大悲の御、愍れみ』にて普ねし全ての衆生を愍れみ下さり

『大悲の御、愍れみ』にて此の娑婆世界普ねし世界の邪、惡を滅尽し、

『善を、眞の救いを、清淨』を至らせ下さります。

『世の全てを、全ての邪、悪から救う事のできる唯一の救世主、慧日大聖主』

南無『釈迦牟尼仏』様が、

『大いなる大悲の御、慰れみ』にて施こし下さります

『無限量の救い』を、然りと受け取れる事を、切に願ひ『本』に設えるのを進めます。

一九九三年 五月 一日

康井朝貴

目 錄

前言——作者的話 1

妙法蓮華經 如來壽量品第十六之義 9

后記——作者的話 310

中文版發行序 315

「可拯救普世脫離一切邪惡之唯一救世主，慧日大聖主」
南無「釋迦牟尼佛」

以「莫大大悲之憐憫」所賜之「無量救助」。

康井朝貴（康 翼己）

一九九三年五月一日

妙法蓮華經

如來壽量品

第十六

桃秦三藏法師

鳩摩羅什

奉詔訳

上記釈明

康井朝貴

妙法蓮華經

如來壽量品

第十六

妙法蓮華經

如來壽量品

第十六

『世の普ねしに是の上に無く尊い』

兩足の慧日大聖主

南無『釈迦如來』様の『御、壽命は無限量』で在る。

『是の一大真実』を明らかにした『義』

『義』を信受し、随に行しる全ての衆生を

全ての邪惡から救い出す

【世の普ねしに是の上に無く尊い】

爾時仏告 諸菩薩及一切大衆

諸善男子 汝等当信解

如来誠諦之語

復告大衆 汝等当信解

如来誠諦之語

又復告諸大衆 汝等当信解

如来誠諦之語

是時菩薩大衆 弥勒為首

合掌白仏言

世尊 唯願説之 我等当信受仏語

如是三白已 復言 唯願説之

我等当信受仏語

爾時世尊 知諸菩薩 三請不止

爾の時、

『世の普ねしに是の上に無く尊い両足の慧日大聖主』
南無『釈迦牟尼仏』様

諸もろの威徳の菩薩衆様、及び、

『一切智慧の種』を得た全ての大衆に告げ下りました。

(則ち 七宝国土に住す『果』を得た辟支仏、声聞衆。

転輪聖王と眷属(俗言神々)。

帝釈天王(三十三神王の中の上首の神王)。

大梵天王(六趣衆生の父の神王)。

四大天王等の神王と眷属の神々、天子衆等)

「諸もろの威徳を有す善業の男子よ、

汝等は、阿耨多羅三藐三菩提を志ざし、等しく

『慧日大聖主』『釈迦牟尼仏』の慰れみに唯、垂がり

阿耨多羅三藐三菩提『法(微妙法の義)』

而告之言

汝等諦聽 如來秘密 神通之力

一切世間 天人及阿修羅

皆謂今釈迦牟尼仏 出釈氏宮

去伽耶城 不遠坐於 道場得

阿耨多羅三藐三菩提

然善男子 我実成仏已來

無量無辺 百千万億 那由佗劫

譬如五百千万億 那由佗 阿僧祇

三千大千世界

假使有人 抹為微塵 過於東方

五百千万億 那由佗 阿僧祇國

乃下一塵 如是東行 尽是微塵

諸善男子 於意云何 是諸世界

可得思惟 校計知其 數不

したが ちえ ゆう
隨う智慧を有している。 由に、

『世の普ねしに是の上に無く尊い両足の慧日大聖主』

南無『釈迦如來』が、威神通力を用いて

久遠來、秘かに世を衆生を救い、施こし

救い至らせて來た事を

誠実に諦びらかにする為に説く『語』を信受し

『義の意趣』を解かれれば、無限量無限の福德を得れ

當に來たる世に、『定めた斯の仏子』が

惡世の三界の此の國土に『凡夫人(俗人人間)』として

出でて、衆生は遇い難く、得難く、知り難し

是の『妙法蓮華經』の『義』自体を演りやすく説き

明らかにする由に、凡夫人として出でて

釈りやすく説き明らかにした

是の『微妙法(如來壽量品)』の『義』を受持し、

広宣すれば疾く阿耨多羅三藐三菩提を体得するに育

弥勒菩薩等 俱白仏言

世尊 是諸世界 無量無辺

非算數所知

亦非心力所 及一切声聞 辟支仏

以無漏智 不能思惟 知其限數

我等住 阿惟越致地 於是事中

亦所不達世尊

如是諸世界 無量無辺

爾時仏告 大菩薩衆

諸善男子 今当分明 宣語汝等

是諸世界 若著微塵 及不著者

尽以為塵 一塵一劫

我成仏已來 復過於此

百千万億 那由佗 阿僧祇劫

自從是來 我常在此 娑婆世界

「に至る『大果報』を得る。」

『世の普ねしに是の上に無く尊い両足の慧日大聖主』

南無『釈迦牟尼仏』様、

復たび、告げ下さりますに『大法会』に詣で在しています

全ての大衆に告げ下さりました。

「汝等は、阿耨多羅三藐三菩提を志ざし、等しく

『釈迦牟尼仏』の『大悲の慇れみ』に唯、垂がり

随い行じる自体の智慧を所有している由に、

『慧日大聖主』南無『釈迦如来』が、

神通力を用以て久遠来、秘かに世を衆生を救い、

施こし、救い至らせて来た事を

誠実に、諦びらかにする為に説く『語』を信受し

『義の意趣』を解かれれば、無限量無限の福徳を得る

『果報』にて『一切智慧の種』を得れ

(則ち『仏道』を得る。仏子に生まれ変わる)

說法教化 亦於余処 百千万億

那由佗 阿僧祇国 導利衆生

諸善男子 於是中間

我說燃燈仏等

又復言其 入於涅槃 如是皆以

方便分別

諸善男子 若有衆生 來至我所

我以仏眼 觀其信等 諸根利鈍

隨所応度 処処自説 名字不同

年紀大小

亦復現言 当入涅槃

又以種種方便 説微妙法

能令衆生 発歡喜心

諸善男子 如來見諸衆生

樂於小法 德薄垢重者 為是人説

『可しき処（七宝国土・清浄な三界に在る。）』

に生じ（願いが叶い）

当に來たる世に、『定めを受けた斯の仏子』が

惡世の三界（則ち六趣の三界）

此の国土に、凡夫人として出でて

衆生は遇（い）い難く、得難く、知（た）り難し

是の『微妙法（如來壽命品）の義』を

釈りやすく説き明らかにする由に、

【明らかにした是の『義』を受持し

他の人に『言る』を行じれば

無限量無限の福徳を得る『果報』にて

速く、『仏道（則ち眞の救いの道）』を成就し、

金色百千万福莊嚴の『仏身』を体得する事が叶う。』

又、六趣（六趣の三界）の三界（則ち惡世の三界）の世の間に住す

我少出家 得阿耨多羅三藐三菩提

然我戾成仏已来 久遠若斯

但以方便 教化衆生 令入仏道

作如是説

諸善男子 如來所演經典

皆為度脱衆生 或説己身

或説他身 或示己身 或示他身

或示己事 或示他事 諸所言説

皆實不虛 所以者何

如來如實知見 三界之相

無有生死 若退若出 亦無在世

及滅度者 非實非虛 非如非異

不如三界 見於三界 如斯之事

如來明見 無有錯謬 以諸衆生

有種種性 種種欲 種種行

すべての諸もの衆生

(諸もの天人(神の中の神王達)天子(神々)。小王、長

者、婆羅門等(俗言神々)。天の衆、龍等の神、鬼神、人

非人等。凡夫人(俗言人間)、鬼、魑魅、魍魎等々)

を『菩薩』様に成れる様に教化し、

或いは天上に干わり住し怨みや、憎しみ、妬み、

愛する者との別れに会い苦惱し、

或いは、地に干わり住し生きる事、病いや老いる事

死する事に怖れ、憂い、悲しみ、苦しみに会い、

絶え間無く苦惱し、「五欲」を求め穢れ、悪を重ねては

悪業や「大罪」を獲得し「地獄、畜生、餓鬼、阿修羅道」

の「惡道」に墮ち大苦に喘えぎ住すに至る、

此の六趣の道に輪廻転生する三界の獄から抜け出る

『大福得』を得させ下さる為に、

『世の普ねしに是の上に無く尊い両足の慧日大聖主』